

第76回大腸癌研究会 家族性大腸癌委員会 議事録

- 日時：平成24年1月19日（木）
- 場所：栃木県総合文化センター
- 出席者：

赤木究，新井正美，石橋敬一郎（オブザーバー），五十嵐正広，石川秀樹，石田秀行，岩間毅夫，宇都宮讓二，大木進司，加藤知行，金光幸秀，小泉浩一，小西文雄，小山靖夫，白水和雄（代理：赤木由人），菅野康吉，杉原健一（代理：樋口哲郎），田中屋宏爾，田村和朗，田村智英子，富田尚裕，中島健，松原長秀，山口達郎，渡辺聡明（以上敬称略，五十音順）

● 議題1 遺伝性大腸癌診療ガイドライン

遺伝性大腸癌診療ガイドラインの発行の流れの報告

1) 原案が完成し、1月20日の公聴会で周知する。大腸癌研究会ホームページ上に掲載しパブリックコメントを求める（1月31日まで）。評価委員会からのコメントに対する修正の後、7月の次回研究会までには発刊の予定。

・大腸癌ガイドライン委員会では3名の委員から意見は出たが、大幅な改訂の必要はない見込み。

・第4次プロジェクトとしての遺伝性大腸癌診療ガイドライン作成は発刊をもって区切り。

・改訂は4年毎を予定。

● 議題2 家族性大腸腺腫症の特定疾患の申請について

石川委員より、「特定疾患治療研究事業」に家族性大腸腺腫症を追加することに関して、大腸癌研究会として要望書を厚生労働省に提出するよう、委員会から会長に上申するよう発議され、承認された。

● 議題3 遺伝性大腸癌の登録事業について

宇都宮顧問、第73回大腸癌研究会で発議された遺伝性大腸癌の登録事業の再開・継続について、委員会として再検討・回答の要請があった。

この点について今後も継続して検討していく方針。

● 議題4 その他

1) 日本家族性腫瘍学会 開催と演題募集のアナウンス

・6月15、16日 大阪で開催（石川委員と山根哲郎先生が会長）遺伝性大腸癌（家族性大腸腺腫症、リンチ症候群）が主題となっており、委員施設から演題参加を要請された。

2) J-FAPP Study I（家族性大腸腺腫症に対するカテキン錠剤の有効性についての研究）、J-FAPP Study II（家族性大腸腺腫症に対するアスピリン投与の研究）、HNPCCに対する熟成ニンニク抽出液の有効性についての研究終了の報告。

3) 会計報告

4) 委員長・事務局交代

第4次プロジェクトの区切りをもち、新委員長に埼玉医科大学総合医療センター、石田秀行教授が就任、事務局も埼玉医科大学総合医療センター消化管・一般外科となった。